

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（南西アジア地域）

STUDY in JAPAN
from South Asia



【事業目標】

南西アジア地域から日本全体（オールジャパン）の高等教育機関への留学生数を2028年度に2022年度比で2倍にする（20,344人→40,688人）。

2024年度：50,536人（内：インド 1,445人）

2025年度：75,240人（内：インド 1,661人）

※日本学生支援機構（JASSO）外国人留学生在籍状況調査結果より集計
各年度5月1日時点の数値

2025年度の主な活動実績

留学説明会の開催・大型留学フェア等出展

- ・ IC3 Annual Conference & Expo（インド・デリー） JAPANパビリオン出展
- ・ Mela! Mela! Anime Japan!!（インド・デリー） JAPANパビリオン出展
- ・ EDEX（スリランカ・コロombo）
- ・ 天皇誕生日レセプション ブース出展（インド・デリー、ブータン・ティンブー）
- ・ 高校における留学フェア ブース出展（インド、ネパール等）
- ・ Study in Japanセッション @Asian University for Women（バングラデシュ・チッタゴン）

現地有力大学とのネットワーク形成

- ・ India-Japan Higher Education Conclave 2025（インド・デリー、アーメダバード、ベンガルルール）

セミナー等への参加・登壇

- ・ JSPSインド同窓会主催セミナーへの教員派遣（インド・カリカット）

- 日印留学促進プラットフォーム：6回 連絡会を実施
- Japan Scholar：14名 派遣
- オンライン留学説明会等：21回 実施

2026年3月31日現在

・日本留学アプリ - Navi Japan

日本の大学の情報発信、
オンラインでの相談

・Instagram等による留学情報の発信



UTOKYO_INDIA_OFFICE

【対象国】

- ・ インド（最重点国）
- ・ スリランカ
- ・ ネパール
- ・ パキスタン
- ・ バングラデシュ
- ・ ブータン
- ・ モルディブ



▲2025年8月 Japan Scholar（ブータン）



▲2025年8月 IC3 Annual Conference & Expo（インド）



▲2025年12月 India-Japan Higher Education Conclave 2025（インド）

東京大学インド事務所
The University of Tokyo India Office

- 2012 ベンガルルールにて開所
- 2015 デリーに移転
- 2024 国内に本事業専任の特任教員を1名雇用
現地のコンサルティング業者と契約し、現地代表機能を担うICR（In Country Representative）を1名配置
- 2025 ICRを計2名配置

2024年度

活動概要（ロードマップ5年計画）

2028年度

活動戦略策定・活動基盤構築

- マーケティング分析、活動戦略の策定
- 現地学生の日本招致戦略の策定
- 現地有力大学とのネットワーク形成
- 会合出席、現地機関や日本留学経験のある帰国留学生とのネットワーク形成

留学生招致に向けた活動

- 留学説明会の開催、留学フェア等出展
- 現地高校への訪問
- Japan Scholar派遣（日本の研究機関に所属する研究者の現地への派遣）
- 卒業生・留学生団体との連携
- 南西アジア地域交流イベント等開催
- 企業・官公庁等との連携

インド鉄道省国費留学生受入にかかる協力（書類選考・面接審査への協力、受入大学との調整）

問合先：東京大学インド事務所／東京大学 本部 国際研究推進課 indiaoffice.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp